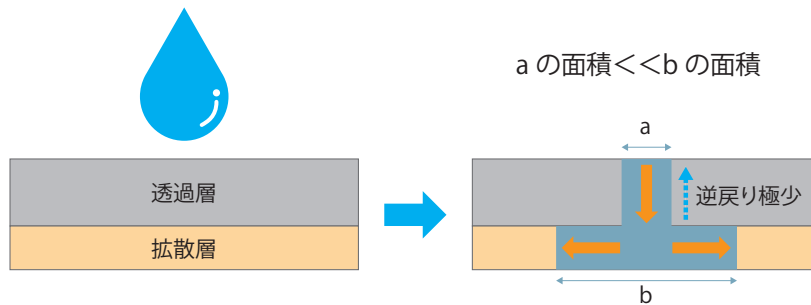


sAni guard⁺ Dry

サニガードプラスTMドライ

抗菌・消臭・吸湿機能はそのまま

吸水拡散性・乾燥性を向上させ、逆戻りにくい多層構造タイプ

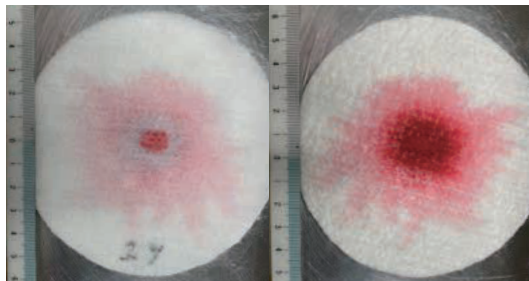


吸水拡散性の違い

サニガードプラス Dry

表側 (透過層側)

裏側 (拡散層側)

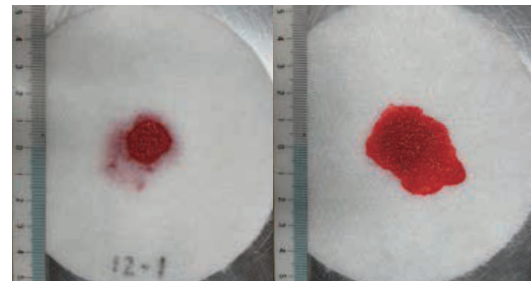


滴下後の吸水拡散性

ポリエステル 100%不織布

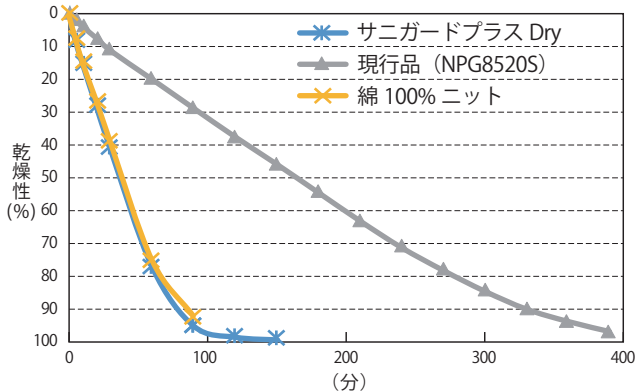
表側 (透過層側)

裏側 (拡散層側)



洗濯乾燥性

サニガードプラス Dryの乾燥性



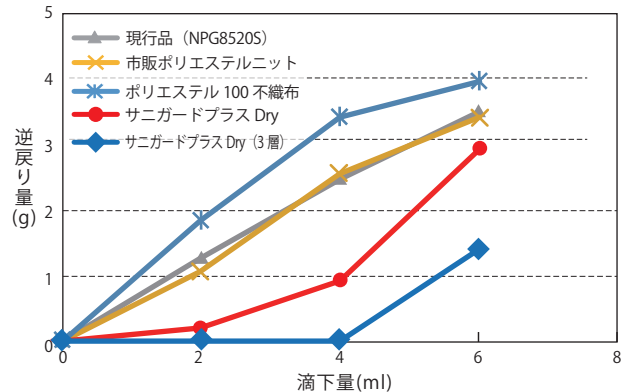
試験方法:

1. 試料 (20cm×20cm) の質量を測定 (W)。
2. 水に30分間浸漬後、家庭用洗濯機で30秒間脱水し、その質量を測定 (W1)。
3. その後標準状態 (20℃・65%RH) の部屋に放置し、一定時間毎の質量を測定 (Wx)。

$$\text{乾燥性 (\%)} = \frac{(W1 - W) - (Wx - W)}{(W1 - W)} \times 100$$

逆戻り性

サニガードプラス Dryの逆戻り量



戻り量試験: 試験方法:

1. ろ紙 (6.5cm×7cm) の質量を測定 (W0)。
2. アクリル板に載せた試料 (ヨコ6.5cm×タテ7cm) に水を各量 (2ml・4ml・6ml) 滴下し、1分後に滴下部にアクリル板、重りを載せ1分間約25g/cm² (試験片あたり1140g) の荷重を掛ける。
3. その後、重り・アクリル板を外し、試料にろ紙を載せ1分間同荷重を掛ける。
4. その後、ろ紙の質量を測定 (W1)

戻り量=W1-W0
(一財) ポーケン品質評価機構にて測定

■ 吸水型サニタリー・尿モレ対策用不織布

sAni guard⁺ Dry

サニガードプラスTMドライ

抗菌防臭性

当該不織布に含まれる銀イオンを保持させたアクリル繊維により高い抗菌防臭性があります。

抗菌性試験	JIS L-1902		抗菌活性値	
	菌液吸収法	洗濯 0回	5.9	
	黄色ブドウ球菌	洗濯 10回	4.6	

※洗濯が多い用途は、活性値 ≥ 2.0 が認証基準
サニガードプラスDry122g/m²で測定

消臭性

当該不織布に含まれるアクリレート繊維により臭い成分を中和します。

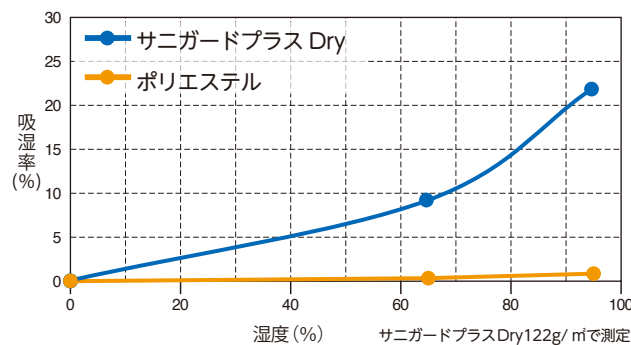
消臭性試験	SEK 消臭試験機器分析法		消臭率 (%)	
	アンモニア	洗濯 0回	99	
		洗濯 10回	99以上	

サニガードプラスDry122g/m²で測定

吸湿性

当該不織布に含まれる吸湿にも優れるアクリレート繊維がムレを軽減します。

サニガードプラス Dry の吸湿率



洗濯後の逆戻り性

洗濯後も性能はほとんど変わりません。

洗濯後の逆戻り量 (6ml 滴下)

